

令和6年度 第3回学校運営協議会

日時 令和6年11月21日(木) 15:45～

場所 会議室

出席者

秋元 みどり PTA会長

尾出 清和 新羽町連合町内会 会長

浅倉 克彦 新羽南町連合町内会 会長

小林 敏昭 神奈川大学社会連携センター 課長

勝 股 正 校長

瀧 川 美樹 副校長

亀 田 明広 教頭

大 山 晃 事務長

学務グループ 伊 藤 博 総括教諭

進路支援グループ 久重路 麻美子 総括教諭

管理連携グループ 須 藤 洋正 総括教諭

ICT推進グループ 能 美 悟 総括教諭

活動支援グループ 宮 原 章祥 総括教諭

学習推進グループ 渡 部 裕哉 教諭

生徒支援グループ 山 崎 博樹 総括教諭

## 1 校長挨拶

本日の協議会では、学校関係者評価について、学校評価報告書に基づいて、ご意見を賜りたいと思っています。それに加えて、第三者評価という、もっと広い観点から第三者の視点での評価を行ってほしいと思っています。

学校行事で言うと、北海道に行く修学旅行は実は今年度が最後で、物価が高くなるなどの様々な事情から、飛行機を使って、しかも三泊というような修学旅行は予算的に難しいこともあり、来年度からは、東海道新幹線を使った修学旅行に変えたいと思っています。そういうわけで、最後の北海道の修学旅行でしたが、収穫したジャガイモを使ってポトフを作って食べるという食育を含めた事後学習を先日行いました。

3年生に関しては、推薦を中心に進路が今決まりつつあります。昨年に比べて、推薦、指定校推薦はもちろんありますが、総合型選抜が増えてきました。いわゆる知識とか思考力といったようなものだけでなく、主体性とか多様性とか協調性とか人間性を育てようということを学校の目標にしています。そういう意味では、この総合型選抜というのは、そうしたものを評価してもら入試なので、新羽高校が目指している教育を受けた生徒が総合型選抜として自分たちの進路を積極的に選び取っていくというのは、望ましい流れの1つなのかなという風に思っています。

授業の研究ということに関して言うと、新羽高校は非常に熱心に 教員たちが取り組んでいると思う。先日も、公開授業研究会をやった。英語に関して言うと、神奈川大学教授の久

保野先生に2年連続で来ていただいて、英語の授業を見ていただいて、その後、授業の研究の振り返りをさせていただきました。

また、色々と今年度は表彰を受けていて、先日、活動支援グループ、いわゆる生徒会を指導、あるいは文化祭や体育祭といった行事を運営しているグループが教育長表彰を受けました。それから、優秀授業実践教員ということで、社会科の渡部教諭が、表彰を受けました。それから北方領土作文コンクールというものを毎年やっていますが、こちらの方で優秀賞を受けた生徒が、北海道根室を実際に視察するというイベントをしてきました。それから、つい先日ですが、毎年応募している新聞コンクールというものも、学校奨励賞、それから個人奨励賞を受けることができました。

それから、地域との関わりで言うと、毎年、花の里作りの会から苗をいただいていて、こちらの苗を生徒と植えるということもやっています。

来年度の入試選抜ですが、募集は今年と同じ10クラス規模の募集ということになりました。今週の土曜日に学校説明会があるので、こちらの方でまた中学生の方たちに新羽高校の魅力を存分に説明したいと思っています。

## 2 報告事項（各グループの取り組みについて）

### 学務グループ 伊藤総括教諭

学務グループはテストを行ってその採点をし集計をし成績に入れるという作業を毎回管理しています。試験を作成する際にも試験を作成する段階や採点が終わって生徒に点数を伝える段階、成績をつける段階でミスがないように安全弁を設けながら 正確な評価ができるように努めています。また途中で何か共有した方がよい事例があった場合には職員会議等を通じまして、校内で周知しまして、ミス等がないように行っています。

特に変化はなくもうすぐ2学期の期末テストが始まりますが、1学期と同様な形で点検をしつつ誤りのない評価をしていきます。

### 管理連携グループ 須藤総括教諭

地域等との協働というところで、生徒は広報ボランティアを組織しまして部活動や行事の紹介ポスターを作成し、校内に掲示したりあとはホームページに載せる等で情報発信を行っています。

ホームページに関しては更新頻度を増やして適切な情報発信を行っています。

### 進路支援グループ 久重路総括教諭

進路に関しては、主体的に進路選択できる指導をしていて、全体のガイダンスに加えて3年生に関しては希望者にその大学をお呼びしたり、企業の方と面談したり、いろんな学校のパンフレットを配布しました。また実力試験においても今年度ウェブを活用して解答結果や検査の結果がその日にわかるというシステムで、その日のうちに振り返りができます。また1年生も、10月15日に大学を訪問して学食を実際に食べたりして、大学について学ぶことができたと思います。

今進路状況に関してはまだ途中ではありますが、総合型選抜で合格したり、ダメだったり、またチャレンジしたりと、今まで結構指定校にある大学から選ぶようなことをしている

生徒も多かったのですが、そうではなくて自分の行きたいところに行きたいということで受けています。なので、総合型選抜に関する指導だとか、そういったところの学校としての体制をもっと強化していくのが、今後の課題です。

#### ICT推進グループ 能美総括教諭

ICT推進グループが関わっているのは 学習環境及び生活環境の整備と向上、学校運営の効率化というところです。まず本グループは職員が業務や教育活動をスムーズに行えるように、それから生徒がICTを使って授業を受けられるように校内のICTインフラを整備しています。元々全ての教室に65インチ大型モニターを配置していて、特別教室にも10個配置していますが、それを全教室に配備し増設しモニターとつなげて使用しています。神奈川県で今年度から2年かけて全ての学校に全教室に75インチの電子黒板が配備されるということで初年度、本校がそれに該当し、30クラスプラス1つ電子黒板が送られてきました。そしてそれらを、1週間後には使えるようにしたので教室に2台のモニターが使えるようになりました。

それから通信速度の件ですが、色々な電波が干渉したりとかして繋がりが悪かったり、あと現場だけでは改善できないことも多々あるので県にはその改善をお願いしたいと思っています。また本校ではこれまで1つも端末を紛失せずに、管理し、使用できています。

#### 生徒支援グループ 山崎総括教諭

今年度の目標である生徒の規範意識と自治意識を高めるということで生徒とPTAや保護者との情報の共有をして、どのようにしていったら学校が良くなるか、具体的には校則であるとかルール・マナーと学校内で守らなきゃいけないことを情報を共有して見直しを行いたいと思っています。

前半の部分はここまでできていませんが、もうすでに計画をしており、これからその準備を進めています。

#### 活動支援グループ 宮原総括教諭

主に行事の充実ということと、部活動の活性化ということを柱にしていますが、今年度は体育館が文化祭の時使えないということが1番の課題としてやっていました。行事の方は、体育祭は応援団を復活したり、あと色別に全員でダンスをしたりっていうようなことをして例年にはない一歩進んだ形になったかと思います。文化祭の方は、仮設ステージを設け、現金を使わないタッチ決済を導入したということ、何年かぶりにオープニングイベントを行ったりまた、後夜祭で花火を上げたりっていうことで1つ1つ何ができるかということを考えてやってきました。

一方部活動の方は、活動は活発になってきたが、加入率の方があまり上がらずこれが来年度以降の課題にもなるかと思っています。

#### 学習推進グループ 渡部教諭

教科の枠にとらわれずに1年間を 共通のテーマで授業研究をして日々の授業に臨むということを目指してやっています。今のところでの達成状況としては授業公開月間の時に他教科の授業を見に行く教員の割合が7割ぐらいということで、あまり自分の教科にとらわれ

ずに同じ生徒に対して様々な教科が、どういう風に授業をやっているのかという視点で、見せ合うことができています。それから授業研究に関しては進路支援グループと連携して研修会を実施したり、外部の方と連携して授業研究会を実施したりという形で、年間を通じて研修の場を設けています。

9月に実施した授業研究会の事後アンケートではそちらに書いてあるように全ての設問で9割以上肯定的な返答を得られたので、方針がある程度職員の間にも浸透してきているのかなと思っています。

質疑応答

小林委員

去年は、神奈川大学に400人授業体験に来ていただきましたが、今年は方針が変わったのですか？

久重路教諭

もちろん全員で同じところに行くっていうのは考えましたが、生徒が普段オープンキャンパス等で行かないような大学とかも少し触れさせたいなというところで、多展開で行いました。

小林委員

どの大学ですか？

久重路教諭

神奈川大学さんと関東学院大学さんと専修大学、大妻女子大学、桜美林大学です。

小林委員

これは生徒の希望か、それともそういった大学の名前があがったのですか？

久重路教諭

今回、こちらからちょっと業者さんと連携しながら、決めました。

### 3 協議事項

①今回の文化祭について感じたこと

尾出委員

決済方法が変わってきました。

それと、大勢の保護者が来ていると思いました。

秋元委員

横断幕が、例年になかったなど、豪華な感じがするなと思って、こういうのを使うというのはすごくいいなと思いました。そして、授業見学がよくある中で、部活動のポスターが

色々なところに貼られているのは、すごく雰囲気は良くなったというか、なかなか加入率は上がらないが、体育祭でもいっぱい活動しているし、生徒の活動がすごい目に見えるように、親にも伝わって、すごく文化祭の時はポスターが多かったのであまりなかったけれど、それ以外の時に、やはりこうやって来た時に見られるというのはすごく素敵なことだなと思いました。いい取り組みだと思うので、ぜひ今後も続けていただけたらなと思います。

#### 尾出委員

文化祭の時に野菜の直売という依頼があったが、包装物を売ってことは、野菜だけじゃなくて、柿などそういったものもあるので、あとは来年そういったものを生産者の方に声かけて、そういうものができたら盛り上がると思います。

### 3 協議事項

#### ②授業について

##### 浅倉委員

1年生のクラスはほぼ満席、全ての生徒が参加していました。2年生になると、ちょこちょこっと、その、空いている席が目立って、疲れているのかなと思われる生徒もちらほりました。そんな中で地理の授業を見た際に、実は私が大学の受験の時の問題、日本地図を書いて38度線を引いてくださいというような問題がありました。いわゆる 38度線というのはやっぱり問題になっている北方領土は日本なのか、あるいは竹島ですとか尖閣諸島は日本なのか、はっきりイメージすることが大事であって、これを要するに聞きたいところでした。なので、今日の地理の授業を見ていても、やはり何が言いたいのかというところを先生が、必死に説明したのは印象に残りました。

それと、色々廊下等を歩いていた中で、各部のポスターが素晴らしい出来栄じゃないかなと思います。あとは、やはり実績を出していただきたいです。野球も今年は、1回戦は勝ったが、2回戦は相手が強すぎたか、負けてしまいました。実績を残すには、やはり普通の練習が必要だと思います。

##### 小林委員

電子黒板、すごく生徒にとってもわかりやすく、先生も多分ポイントをきちんと整理してお伝えできるツールなんだなと感じました。先生がその資料を作るその手間というのはすごく大変だと思うのですが、そちらを1回整備することによって、きちんと生徒さんがそこについていくというところは、多分、その黒板とかペーパーではないところできちんと授業が進むのだろうなという実感はすごくありました。大学でもそこまではないので、羨ましいなという、ああいったところは大学も入れれば良いなと思いました。

##### 秋元委員

電子黒板は本当に最近何年も見ていく中で、ますます使い方が、先生方が色々工夫されていると思いました。言葉で、生徒たちに語るだけじゃなくて、そういうのは、クラスとかに掲示されているというのはすごくやっぱり目につくので、いいなと思います。また学年によってそのデザインが変わって、生徒会と入っているのも、生徒会がちゃんと活動してるなら行こうかなと思います。来月はぜひ、生徒会とPTAとの座談会の方もさせていただきたいと思います。

#### 4 今年度の取り組みに対する評価

##### 浅倉委員

実は今、現場の鶴見川の河川敷の使用を国交省に申請しなければいけないというのと、それから、国交省自体で鶴川の河川敷の清掃をいつやるのかというのが去年は12月に展開したところなのですが、今年は12月に、清掃活動が今のところできないような状況になっています。では、いつ頃やるかということですが、来年の2月頃を予定しています。校長先生、副校長先生、PTA会長も含めて、たくさんの方々に、ご支援活動に参加していただきました。

##### 校長

2月になると、入試がありまして、ちょっと2月になると、生徒を集めてやる、やれるかどうかというのがちょっと厳しいかもしれないので、またその時にはちょっとご相談をさせていただきたいと思っています。

##### 浅倉委員

部活動加入率が増えないのはなぜですか？生活感の違いなのでしょうか。

##### 宮原教諭

運動部の加入率が、特に女の子の運動部の加入率が低いというのがあります。今年に関しては、入学者が女子が多いので、文化部の方にどうにか頑張ってもらって加入率をという風に考えていたが、結果的にはあまり入っていません。運動部に関して言うと、もう中学校の方では週で休む、土日休んでというようなことが徹底されてきて、毎日練習するというのが、ちょっと通学とかアルバイトとかもあるからというようなことで、毎日、平日ずっと部活をやったり、土日来るとというようなことがちょっと辛いと言っている生徒が実際に多いので、コロナ禍を過ぎて、生徒の方もちょっと部活離れしたところがあって、それがまだ残っているなという感じを受けています。

##### 秋元委員

今の生徒もコロナの時に中学校からもうやってないと思います。そうすると、なかなか小中やってこないで、高校というのも、そのバイトがなんだっていうので、中学でも、なかなか入ってこない、だから、年々、これから頭打ちなのかなと思います。文化部、写真部とか、そういう小さな活動でもできるような、ボランティア部とかは、久しぶりに人がいるというのはあります。ぜひ地域にも出てきていただけたらと思います。

##### 校長

かつてのコロナ前の盛んだった頃に比べて加入率が下がってしまって、回復するまで至っていないけれども、男子は昨年よりは運動部に入ったのが確かに増えていました。ただ、全体の比率で言うと女子の方が多く、人数としては増えていません。傾向として、新羽高校は文化部の数が多いと思っています。パティシエ部だとか、競技カルタ部だとか、茶道部もありますし、美術部や漫画研究部とか色々な部活があるので、人数は少ないが、そういうそれぞれの部活で活動しようという生徒たちはいます。

逆に、そういう生徒たちを大切にしたいです。そのポスターは、学校説明会の時に見てくれた、中学の時に部活をしていた子たちで、新羽にこういう部活があるんだと思って、来年度入ってきてくれればいなと思っているので、長期的な視線に立ってやっています。

#### 副校長

今年入ってきた生徒は、女子が多いが、学びに向かう主体性というのは今までの生徒よりも高いような気がしています。教え合ったり協力し合ったりというのがとてもスムーズに、そういう印象は受けています。

#### 小林委員

大学とかで、女子の学生、すごく積極的で、学びに向かう姿勢というのは特に大学の時顕著に現れてきて、いろんな活動、PBL、女性がリードするという、もうこう構図が完全に出来上がっていて、男性は後ろでちょこちょこ話すみたいな、たまにこう出てくる学生もいますが、女子の意欲、意識というのはどんどん強くなっていると思っていますし、部活がという話もありますけれども、多分女性の向かうところって、そういうところでこれからどんどん伸びていく、もしくはその人間的な力というのは、女性の方がいち早く男性よりも自覚して身につけていくのかなという体験をちょっとしているところでは。

#### 浅倉委員

見学した中で、ちらっとしか出られませんでした。面接に関して、どのようなやり方をやっているのかということも知りたいが、色々やり方があると思います。1つの方法として、見学する、それを見ている人は色々な意見を出し合うというやり方もまだあります。その辺は回数を重ねてやるしかないと思います。それで、やっぱり筆記はできるけど、口で喋るのが苦手だというのは結構いるので、もうそれはもう練習以外にないと思います。

#### 久重路教諭

面接練習に関しては、業者も夏の段階では、こう個別にこういうことが大事だよみたいなお話だったりとか、3、4人で面接をしあったり、面接をやっている姿を見て、勉強するみたいなこともやっています。指定校に関しては、全職員で割り振りをして、1人が3、4人と会話して練習しています。最近では面接の練習を動画で撮って、それを後で一緒に振り返ってという練習をしています。

#### 浅倉委員

姿を見ていましたが、非常にいいことだなと思います。

#### 副校長

せっかくの機会なので、最後にお一方ずつご意見をお願いします。

#### 秋元委員

毎年、本当に色々改善されるどころがいっぱい改善されてきて、いい学校になってきて

いるなと思います。特にコロナを出ているので、その前を知っているという気持ちでもあるし、そこからの回復というのは、色々なところで大変だった分、本当にITに関しては本当にいい方向にすごく変わって、それこそそういう面接の形をとるとか、今時の、機器を使ったことが今風にそれを消化できているというのはすごいと思います。私たちの昭和の時代の頃から比べて、本当に変化が確実になっているし、先ほどの能美先生が言っていたように、レンタルをしているものが一個もなくなるとか、当たり前前のことが当たり前でできるというのが人生においては1番大切なことなので、そういうところが守られている学校でよかったなと思います。

#### 尾出委員

新羽高校は生徒数が1番多い方の学校と聞いています。逆に言うと、教職員の先生方たちの、生徒たちの指導っていうのは大変じゃないかというのは感じています。来年も同じような人数が入ってくるということだが、まだ体育館は工事も終わってないと思います。色々な難題が出てきますが、生徒指導の1つとして頑張っていたいただければと思います。

#### 浅倉委員

生徒とその関係作りは、気を付けて注意して見ている、新羽町にはたくさんの公園がありますが、私は北新横浜駅の清掃とかの活動をしています。1年生の女子生徒が手伝ってくれたのですぐに学校に電話しました。できるだけ生徒さんと接触しながらいろんな話を今後も続けてやっていきたいです。

#### 小林委員

先日、64名の方に来ていただいて、アンケートを拝見させていただいたが、お二人の生徒さん、「大学進学が視野に入ってきた」というお答えをいただいています。やはり専門学校とか色々考えている中で、大学というところに対して、ちょっと行ってもいいのかなと考えていただけた人がいたっていうのはすごく嬉しかったです。別に神奈川大学にこだわらず、そういった環境でまた自分を試してみたい、自分を成長させたいっていう意欲が生まれるきっかけになったのはすごくよかったなと思います。また、授業改善ということで、私どもの久保野先生がこちらの方で、石川先生が久保野ゼミ出身だということで授業させていただきましたが、この中で、久保野先生からいただいている報告書で、「クイズ的な面白さは楽しめたか、それが学生に繋がっているのか、面白おかしく飽きない授業から、分かって身につくから楽しいと思える授業っていう風にしていかないと」という提言がなされていたかと思います。確かにきっかけは楽しくて全然私はいいと思いますし、そういうところから入っていった時に、その次に、大学でもやはり英語という授業をきちんとやれるところなので、その楽しさから学ぶ意欲を1つ上げていただければと思います。

#### 副校長

3月3日、卒業式ですが、体育館が使用できない関係で、みなとみらいホールで開催する予定です。また近くになったらご案内をさせていただきたいと思います。

16時50分 閉会